

解決策を考えるためのマンダラート ～学んだことを活用するために②～

ねらい

○講話などを聞いたり、体験活動を行ったりした後で、家庭での活用方法などのアイデアを多く出し、さらに深めることができる。

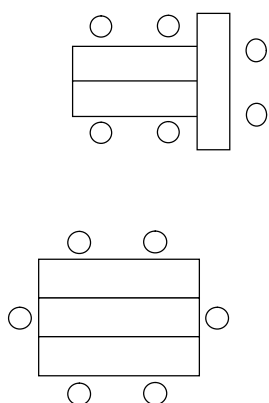
特徴

思考整理 ★★★★★☆
気付き ★★★★★☆
仲間作り ★★☆☆☆☆

活動の様子

個人でも可。グループの場合は、1グループ4～6人程度

【グループのメンバーの配置例】

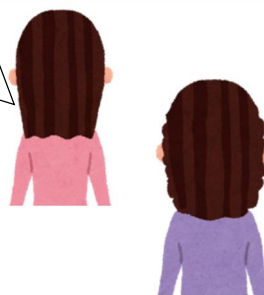


	テーマ	

【準備物等】

- ・ワークシート (各自1)
- ・模造紙
- ・マジックペン

マンダラートは、一人でもできるけれど、あとでみんなのシートと比べると、いろんな解決策があってもいいわ。



8つの中から価値のある解決策を選んで、2枚目の中心テーマに置くのね。

主な流れ(例)

- 1 3×3のマトリックスを描いた紙を用意する。
- 2 中央のマスをテーマを書き、その周りに、解決策をマス1つにつき、1つずつ計8つ書く。
- 3 8つのうちから1つ価値がある解決策を選び、新たなマトリックスで考える。

テーマ例) よい保護者であるためには

①	楽しく毎日 を過ごす	進んで挨拶 をする	②	振り返りの 時間を持つ	自ら規則正 しい生活を
	よい親である ためには	しつけを する		しつけをす るためには	小さなこと でもほめる

- 4 グループ内で、どのようなマンダラートを作ったかについて、情報交換する。

※進行役は、同じテーマでも解決の方向が様々であることに気付かせるような声かけをする。

運営上の留意点

8つの中すべてに解決策を埋めるようにします。

1回目に展開したすべての解決策について、さらに展開する必要はありません。具体的に考えていく価値の高いものや、重要度の高いものを選んで、広げていくように声をかけましょう。また、グループ内でお互いの解決策を紹介し合うことで、さらに発想が広がるので、途中で紹介し合わせてもよいでしょう。

